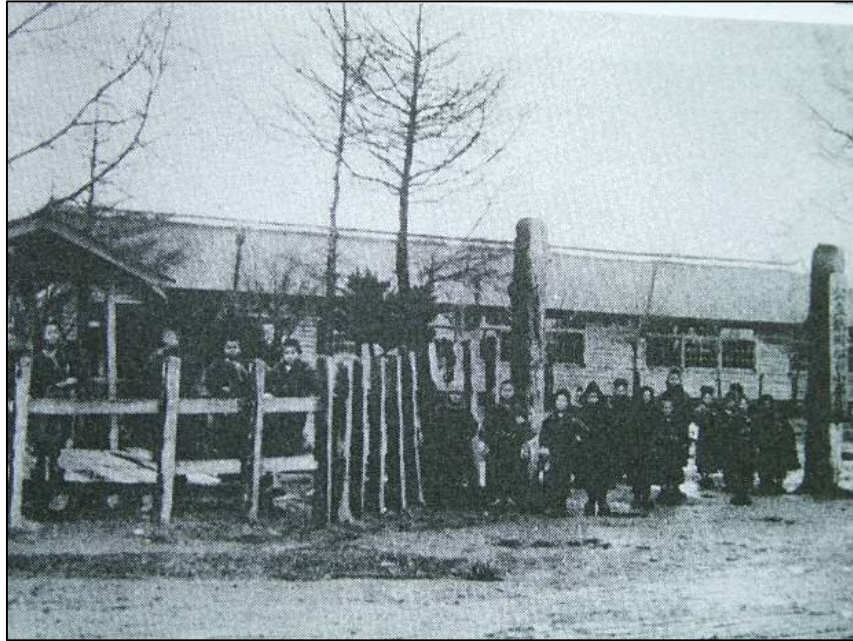


文化財だより

【古記録に見る鵜川の風景⑥】

開拓時代の鵜川小学校の敷地跡



【写真】明治三十四年頃の鵜川小学校（『鵜川町史』より転載）

今回は、明治三十六年から大正八年頃まで、花園二丁目付近に所在したと伝わる、鵜川小学校の敷地の跡についてご紹介します。

鵜川小学校は、明治二十一年に勇払の郡役所勤務であった佐藤辰之助氏を世話役として、鵜川教育所を開設した出来事が創始であると伝えられます。後に、中央通りが整備され、新しい市街地が発展すると、現在の鵜川交番の東側付近（花園二丁目付近）に校舎を移し、教育所から鵜川尋常じんじょう小学校に改称となったことは、文献記録のとおりです。

明治時代の鵜川尋常小学校の資料は、大正十四年の学校火災により大部分失われましたが、当時の文献や市街地区画図等の記録や、往時を知る地域住民の言い伝えから、当時の小学校の大まかな位置を知ることができました。

明治四十四年に作成された、嘉仁皇太子（後の大正天皇）ご訪問関係の鵜川市街の見取図（図1）には、馬車の置場や馬丁ばてい（馬の世話をする係）の休憩所として小学校と役場の敷地が図示されています。これを大正十一年頃の地籍図（図2）に照らし合わせ、これを現在の地籍図の位置に置き換えると、花園二丁目の南東部に鵜川尋常小学校の敷地の名残が残っていることがわかります（図3）。

図4は、再現した学校敷地の形です。面積は四千㎡を満たしません。「グラウンド一周百m

であった」と伝わるように、当時の小学校は現在よりもずっと狭い敷地に所在した様子
うかがえます

資料：『創立百年史』昭和六十三年刊行

『鶴川町史』昭和四十三年刊行、

『勇払郡鶴川村境界査定図』大正十一年作成

『鶴川昼餐書休憩所平面図』明治四十四年作成

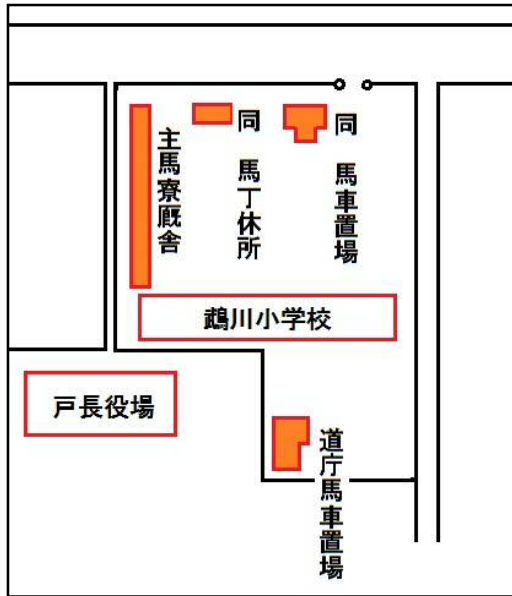


図1 鶴川市街見取図（概略）

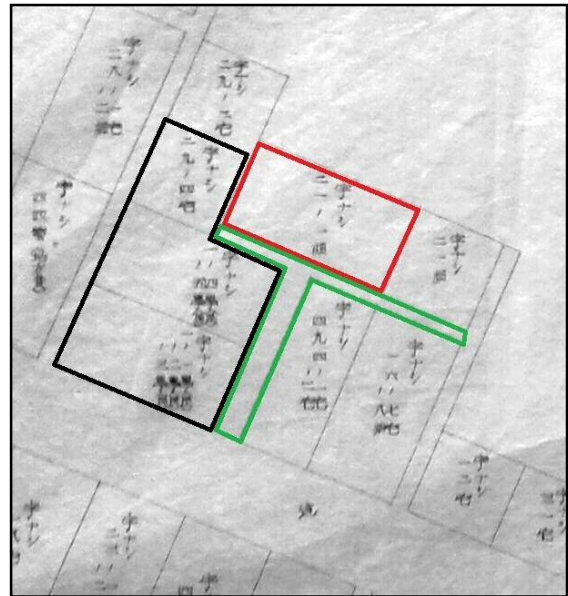


図2 大正十一年頃の地籍図



図3 現在の地籍図



※.大正11年の土地区画に明治末頃の学校敷地を填め込み再現
図4 再現した明治末の鶴川小学校の位置

【連絡先】むかわ町教育委員会生涯学習課社会教育G 電話【42】2487